

花の語らい



ライオンズクラブ国際協会
337A地区7R3区

1996・7～1997・6

第6号

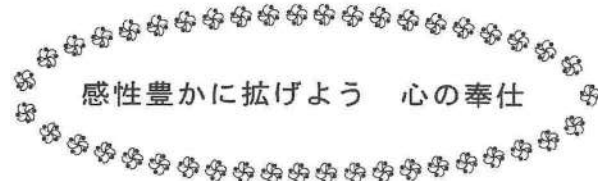


福岡桜ライオンズクラブ



FUKUOKA SAKURA
LIONS CLUB

会長提言



目次

第43回年次大会アワード	1
会長挨拶	(L 濱田 光江) 2
幹事	(L 古賀カツ子) 3
会計	(L 吉松セツエ) 4
ライオンテーマ	(L 梶谷 敬子) 4
テールツイスター	(L 末松 久子) 5
第二副会長	(L 金川喜久子) 6
第三副会長	(L 日下部房子) 7
委員会だより	9
指導力育成・ライオンズ情報委員会・アイヘルズ委員会	9
大会・接待・会則委員会	10
会員・出席委員会	11
財務・計画委員会	12
公衆安全・社会福祉委員会	13
市民・環境保全・アクティビティ・ 教育・レクリエーション委員会	14
YEプログラム・国際関係プログラム委員会	15
視力・聴力保護・薬害・保健・ 糖尿病教育・レオプログラム委員会	16
雑感	18
次期会長挨拶	(L 山下富美子) 19
アクティビティ	20
LOVE CAN BUILD A BRIDGE (愛の架け橋)	22
編集後記	(PR会報編集委員会) 23

表紙の花 L 山川久美子
題 字 L 江口つや子

アワード



クラブの部

- ★出席優秀クラブ賞
- ★アクティビティ労力奉仕優秀クラブ賞
- ★アクティビティ金銭奉仕優秀クラブ賞
- ★アクティビティ資金獲得優秀クラブ賞
- ★ガバナー特別クラブ賞
- ★PR賞
- ★国際親善貢献クラブ賞
- ★YE賞
- ★レオ育成優秀クラブ賞
- ★年次大会登録100%クラブ賞
- ★LCIF100%20\$ 献金クラブ賞
- ★献血優秀クラブ賞

個人の部

- ★YEファミリー賞……………L 末 松 久 子
- ★ガバナー特別個人賞……………L 二 田 初 子



感性豊かに広げよう 心の奉仕

会長 L 濱田 光 江



平成9年4月13日、337A地区第43回年次大会に於て、福岡桜LC1年間の成績が発表されました。

クラブの部12個、個人の部2個とLCIF個人賞25個を戴きました。福岡桜LC70名の汗と涙と笑いの結晶です。奉仕をしていく上での成績ですが、やっぱりうれしいものです。

これも歴代会長と会員の皆様が培ってこられた伝統の上でのアワードです。

今年も色々な事業をしてまいりましたが、印象深いものは「民謡でつづる日本の旅」の事業資金獲得ディナーショーと、日本赤十字社福岡県支部へ血液運搬車を寄贈出来た事です。福岡県内を福岡桜LCのマークをつけた車が走る姿を目にとめる事が出来ると思います。

又、舞鶴LC25周年記念式典で、アウグスティン・ソリバ国際会長と「愛の架け橋」をご一緒に合唱出来た事も感銘を受けました。

アッという間の1年間でしたが会員皆様に戴いた、たくさんのご協力とご理解に心より感謝申し上げます。特に私をよく補佐してくれたやさしい古賀幹事、吉松会計、梶谷テーマー、末松テールツイスター、各委員長さん1年間有難うございました。

最後に前会長L山本千鶴子に贈って戴いたエールを次期会長L山下富美子に心をこめて贈らせて戴きます。

ウィサーブ!!



感謝を込めて

幹事 L 古賀 カツ子



緊張がホッと和らいだ迷司会が放った閉会宣言に始まり、途方もない幹事をお受けしてしまっただ事反省の日々がつい昨日のここのように思われます。

ドイツよりの来日生、トーマス・レスケ君のマリエラクルーズ歓迎パーティに始まったこの1年でした。ホストファミリーのL末松一家と共に楽しんだひと時、L森本の招待による由布院での夜能では、能楽師森本司郎氏が舞われた幽玄の世界への誘いは、その後急逝なさいましたことを重ね合わせたら、現代を遊離した日本古典文化の深さに触れ感動の夜でしたが、果して異文化の彼にとって何を感じられたことでしょうか。

9月30日より台湾新竹慈慧LCより15名の来日、会員皆様の御協力により、合同例会、歓送迎会等、あわただしい3日間のもてなしが出来ました。

11月28日より3泊4日の台湾訪問、台湾慈慧LCとの合同例会と東洋東南アジアフォーラムを兼ねた旅で16名の参加者と共に楽しい思い出となりました。合同例会は、いつもながらの心暖まる歓迎を受け更なる交友を深めて参りましたし、アジアフォーラムでは、台湾の新しい息吹と、力強さを直に感じる大会でした。

12月は、中学生作文の表彰式、福岡21LCとの合同例会に、他LCよりビジターをお迎えしての盛大な忘年例会となりました。

福岡舞鶴LC25周年記念祝宴では、アウグスティン・ソリバ国際会長御夫妻を始め、役員の方々と一緒に「LOVE・CAN・BUILD・A・BRIDGE」の合唱で、桜LCの結集の素晴らしさを改めて感じました。

今期の大きなアクティビティとして資金獲得事業であります「民謡でつづる日本の旅」も沢山のお客様がお見え頂き盛会に終り、収益金で血液運搬車1台を、日本赤十字社福岡県支部に寄贈する事が出来ました。

ガバナー提言にあります「愛、行動、そして感動」正しくそのものの、1年間でした。いくつもの感動を体験する事が出来まして、この上なく幸せに思っております。

濱田会長の適格な指示の許でこの1年を大過なく終えようとしています。時には挫けそうになった時、先輩の御指導や、会員の皆様の暖かい励ましのお言葉、御協力を頂き乍らやっと今日を迎える事ができます事を心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

会計職を終えて

会計 L 吉 松 セツエ



何もわからないままお引き受けした会計職、毎月毎月事務局の会計の方に、あれこれとお尋ねしながらの1年でした。十分に理解したつもりでも、帰宅後再度わからないと又、お電話でお尋ねする等、大変お世話をおかけしたと思います。お陰様で何とか大役を終えてほっと致しております。この1年間は、三役として他のクラブの方々との素晴らしい出会いも多くありました。又、ライオンズクラブの大きな組織や活動の流れ等が、多少でも理解出来る様になったのは、私にとりまして、大きな収穫だったと思います。

皆様この1年間大変御協力頂きましてありがとうございました。

これからの桜クラブの活動に微力ながら、お役に立てたらと願っております。

ライオンテーマをお受けして

L 梶 谷 敬 子



ライオン・テーマは旗・バナー・ゴング・木槌・歌集・名札掛けを含め、財産及び備品管理の責任を持つ、各会合の前にそれを適切な場所に配置し、会合後は適切な保管場所に戻す。会合中は会場の秩序を維持し、出席者が適切に着席しているかどうかを留意し、クラブ及び理事会に必要な会報・記念品・その他の印刷物を配布する。新会員が各会合ごとに違ったグループと同席し、よりよく知られる様に特別配慮する。ライオンズ必携にライオン・テーマの任務がこの様に具体的に記載されております。会場の設営をしなくてはいけないので、一日たりとも欠席する事は出来ないと、自分自身に言い聞かせながら不安と緊張でいっぱいでした。でも皆様の御協力と寛容の精神をいただき、大半の日程を過ごすことが出来ました。それには副ライオン・テーマのL三坂の絶大なお力添えがあった事を改めて心より感謝いたしております。開会前の段取り、閉会後の後

始末等、特に持出し例会の際などには、率先して協力していただき、大過なく過ごせることが出来ました。ライオン・テーマの会則にもあります様に「会員の方達は会合のたびに違った人達と同席することによって楽しみが増すであろう」と云う部分がありますが、ライオン・テーマの心得としてこの点は、留意すべきであると思います。ライオン・テーマのお役を終えても一会員として、新入会員の方には早く会になじんでいただき、会にとけこまれる様微力ながらお手伝いさせていただくつもりです。ふりかえってみれば思わぬミスや不行き届きの点もありましたが三役の方々、又諸先輩の皆様に助けていただきながら、役を終ろうとしています。あとわずかではございますが最終迄無事にこの役を終ることが出来ればと思っております。

テールツイスターを終えて

テールツイスター L 末 松 久 子



草葉が深呼吸し、光輝く季節に、今期も終ろうとしております。テールツイスターの役務をいただき緊張の連続でしたが、大変楽しく勉強させていただきました。研修にてテールツイスターとは、会合を調和、友好、活気を促進すること、常にユーモアをもって、会員をくつろいだ気持ちにさせること等々、学びました。このことをベースに、私なりに「陽気に朗らかに」「策は無策なり」など一人言をつぶやきながら遂行してきました。皆様のドネーションのお心を読ませていただきながら、やさしいお人柄がひしひしと伝わってまいりました。喜びや、哀しみ、そして哀しみを克服する力強さ、そのエネルギーを私自身たくさんいただいたような気がいたしました。ライオンズクラブの精神であります「我々は奉仕する」の言葉どおり有意義な奉仕活動に参加出来ることを改めて感動しております。又、ドネーションの重要性を深く知ることが出来ました。

濱田会長をはじめ、会員の皆様の心温まるエールを送っていただいたことに深く感謝いたします。そして、この1年間、支えて下さいました、身体は細いがふところ太い、L中島に心よりお礼申し上げます。最後になりましたが、次期のテールツイスター、L木原にバトンタッチをさせていただきます。頑張ってください。

それでは、この1年間、本当に本当にありがとうございました。

無責任時代

第二副会長 L 金 川 喜久子



私は結婚以来今まで30数年、現在通称“親不孝通り”と呼ばれている所に住んでいます。結婚当時のこの町は、天神より少し離れて、それはそれは静かな住宅地でした。家に帰るには、天神町より舗装されていない、街灯もうす暗い通りを、こわさを感じながら駆け抜け、息せき切って帰るのが、普段の生活でした。訪れる人も少なく、隣近所の人達とは皆、顔なじみで、朝の日課は、向いの長浜公園で、子供を自由に遊ばせ乍ら、日常会話が弾む毎日でした。

二十数年前頃より、近くに大学予備校の大手M学園、A学館が進出し、受験戦争のはしりが見え始めた頃より、町の様相はどんどん変化して参りました。若者の多さに目をつけた飲食業者等が、個性あふれる店舗を次から次へと出店させ、少しづつ町は住民不在の、今の様な町に変わっていったのでした。それに追い打ちをかけたのが、バブル全盛時代でした。またたく間に近所の住民は姿を消し、現在は昔からの世帯はわずかに4軒、地域の連帯は完全に破壊されました。

時は移って平成8年、今の公園は深夜と云わず早朝まで、週末は若者で溢れ、公園周辺道路はキーキーと騒音をまき散らす暴走族のサーキット場と化し、一夜明けると公園とその周辺はタバコとゴミと空カンの山、騒音のひどさに住民はたまりかねて派出所の設立を行政側に直訴したのでした。でも若者達は逆に暴力行為から身を守ってくれる警官が近くにいる事に安心してか、その集まる数は異常でした。その様な時、こんな例がありました。或る日、中央署より電話があり、“公園に街灯を5基増設して、明るくしたいのですが、どう思われますか？”との質問。“ハー、何故街灯が必要なのですか？今の尽で充分ではありませんか？”“いいえ、暗い所では犯罪が起きやすいのです。”

“今でも若者が深夜まで集まって騒いでいるのに、これ以上明るくしたらもっと集まって今以上に騒がしくなると思いませんか？”虫でも明るい所に集まってくるではありませんか？明るい所に集まるのは人間の本能ではないでしょうか、それは逆効果だと思いますヨ、”しかし、公園に街灯は増えました。それから数年、あの頃より若者はもっと増え、花火が打ち上げられ、カンシャク玉は破裂し、絶え間ない若者同志の、タワイない理由でのケンカ、ヘドとゴミの山、まるで西部の無法地帯その尽の状態になりました。

その一方、マスコミは“若者の街”と報道し、“おもしろい街”“何かが期待できる街”と全国的にPRしました。

この一例のように単絡的な行政の見方でも分るように、夜は暗い暗い所には犯罪が起きやすいから避ける、など、知らず知らずのうちに社会全体で過保護へと流れ、みんなを駄目にする、公園を明るくすれば全てが丸く納まると考える大人達の責任の取り方、そのように、今まで若者が全ての面で育てられて来たから、自分の周りに気を配るとか、自分がここでガマンする事がトレーニング出来ていないから、今の様な無節制な若者が増えてきているのは否定できないでしょう。先に述べた行政、警察の話も、そのホンの一例に過ぎない様に、世の中が無節制な時代に突入した様です。家庭での子供への甘やかし（又は放任とも云う）だけならまだしも、学校、地域社会、行政の無関心、マスコミの道を過った報道、これらの全てが重なりあって、今の現在を生きる若者のモラルの喪失と呼ばれる現象を起しているのではないのでしょうか。勿論、私達親としての責任の存在は否定出来ないと思います。

これから先、これらの若者が担って行く日本の将来はどうなるのでしょうか、本当に末恐ろしい時代になるように思います。



人材開発

第三副会長 L 日下部 房子



21世紀はPTD三企業が油断の出来ない時代になっていくであろうと、もう8年前頃から云われておりました。Pパチンコ、Tホテル、Dデパート、その中のTが私の所の職業です。福岡は特にアジアの中心部と云われて、遊び、泊り、ショッピングがつながって、あれよあれよの間に企業建設の賑わが多くなりました。又、潰れていく企業もかなりあるようです。その中でホテル業を営み95年5月より第三期増改築に踏み切り2年間の工事は大変なものです。週二回、三社会議が有り施主施工設計社の話し合いがずっと続いております。そんな時に私も、一昨年頃から体に変調をきたし、人が抱えないような病気に取りつかれて「サルコイドーシス、ヘルペス」等のありがたくない病で、入院生活をやむなくしました。この二年間私にとって一番大事な正念場のようなものでした。やっ

とこの頃健康を取り戻したようです。これもみな様のあたたかい言葉が何よりでした。ありがとうございました。この5月初めに私が十年前からお付き合いして頂いております、東京で作法教室、いろんなマナーや人材産業についても、しっかり勉強され経営コンサルタントとしても、各会社の教育にがんばっていらっしゃる方で、私も東京で作法の勉強を教えてもらってる先生ですが、三日間宿泊された折のお話しです。

「これからの人材開発について」今からの産業は人材産業であり、数少なくなる若者の気持を理解することによって、事業の発展はありえる。

1. 高給料がほしい。残業を好まない。
1. 中間幹部との交流がまずく転職が多い。
1. 専門職に付きたい。組合には入らない。
1. 遊び上手、自己中心型、従業員も客なのだ。

これを十二分に理解して今からの若者をどう教育するのか、今後の経営者の課題となる。

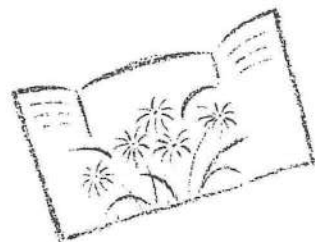
▶今からの教育には

◎経営者＝社員と一体になってのコミュニケーション

◎五眼の実

1. 肉眼＝現実に物の考え方を教える
2. 天眼＝なぜどうして本質的に出来ないのか
3. 慶眼＝眼で見る・学問・ものごとの本質を見せる
4. 法眼＝創造・芸術的・美的感覚
5. 佛眼＝佛の道

一人で聞くのも勿体ないので、この「花のかたらい」に書かせて頂きました。何かのお役に立てばと思います。



委員会だより

指導力育成・ライオンズ情報委員会・ アイヘルス委員会

委員長 L 森 本 攸 子

この委員会の任務は、会長の指導力を補佐し各委員会が活発に続けられる様指導すること、又会員に対しクラブの歴史や業績、地区の機能や人事それに国際協会の組織や現状を知らせる事などです。桜LCではこの委員会のメンバーは、会長経験者からなるという特色をもっています。



年度末にあたり、委員会を開きこの一年間を振り返り、年間の活動方針とした実施事項の確認、又反省事項など、フリーに話し合いました。

⊗実施事項として

- ◎例会での情報タイムは地区の情報委員会ニュースを流したり、委員が交代でライオンズに関する話を受け持った。
- ◎委員長会は、今年は特に会長の肝入りで4回開かれ、委員会の活動状況、問題点など熱心に、かつ和気あいあいのうち話し合った。
- ◎会員にアンケートを実施し、ライオンズ用語の理解度、内規改正についての意見などを聞いた。特に桜LCに入会して「良き友人がもてた。生甲斐を見つけた。人に世に奉仕できる幸せをもてた等々」よかったと云う大多数の声があった。

⊗反省事項として

- ◎新会員教育を受け持っているが、もっと積極的に新会員に接触してLCを理解し、協力を求める様努力する必要があるのではないか。
- ◎地区大会へは全員参加としたが、休会会員又は病欠、出張中の会員の問題などあり次への研究課題としたい。

◎例会に於いて委員会の中で出た質問意見など、全員で意見交換出来る様な時間又は雰囲気を作る必要があるのではないか

◎情報タイムに於いて、ライオン用語の理解又各役職の仕事内容の把握についても、もっと説明する事を要すると思う。

◎例会での私語が多い。これを何とかしたい。

◎コーヒータ임や昼食時間があるのでこれを利用する様、指導したい。

⊗アイヘルス委員会に於ては「7 R合同事業糖尿病講演会」をRC・L平木敏夫の指揮により行いました。

アイヘルス委員長 L 松井和子



大会・接待・会則委員会

委員長 L 長友美智代

第35回東洋東南アジアフォーラムに参加して



去る平成8年11月18日、私達福岡桜ライオンズクラブ一行16名は、フォーラム参加と台湾の新竹慈慧ライオンズクラブ例会出席のため、福岡国際空港を台北へ向け出発いたしました。いつもの事ながら旅の始りの期待感と興奮によって、機中は賑やかで台北までの時が、またたく間に過ぎ新竹慈慧ライオンズの方々の温い歓迎を受けることが出来ました。新竹のライオンの方々の心からのおもてなしはいつもながら感激いたしました。

初日は忠烈祠中正記念堂、孔子廟と見て廻りました。中でも忠烈祠の衛兵交替式は若き兵士の凛々しい立ち振舞は見事なもので厳しい訓練のたまものと感じ入りました。夕食会は中華料理の粋を思わせる味と楽しい笑顔の中、乾杯、乾杯の連続で時のたつのも忘れ去る程でした。翌日、愈々本番のフォーラム開催の日、会場の桃園巨蛋体育館は大勢の人々でごった返し、中央に回転式の舞台が造られていました。

その舞台には李總統をゲストとして迎える国際会長夫妻を始めとして19ヶ国のライオンの代表が着席し、式典は、私達の座席の前の真白い制服姿の楽団員の演奏で始まり、總統や国際会長のご挨拶と次第に高潮するライオン達の心が奉仕を目的としたウィザープの精神で結び付き、燃え上る様な雰囲気に包まれたフォーラムは本当に素晴らしく、



胸の高なりを感じた式典だったと思います。これからもこの様な大会が開かれますが、多くのライオンの方々に参加していただき、色々な経験の中からライオンズの精神を理解され、又会員相互の親睦の輪も広まっていくものと存じます。

会員・出席委員会

委員長 L 竹田美子

木々の緑の美しい照りかえしに、もう一年経つのだなあと、今更の様に感じ入ります。

会員委員長を仰せつかって、今年は例会出席に目標を置きました。第一に私自身何をおいても例会出席の任を果そうと例会日の火曜日は、すべての所用を排する事にし、お陰様で欠席する事も無く任期も終ろうとしています。

“返事を出すのもエチケット”と会員諸姉に例会出席を呼びかけて参りましたが、効果があったのか、なかったのか？一年間の成績は次の通りです。

①例会出席率 月平均70.7%（メイキャップを除く）

②出欠の返事なし 月平均13%（9名）

②の返事が無いと云うのが問題で、皆様多事多忙だからこそ出欠の返事を出していただきたい。特に会食のある第二例会は準備の都合がある事を念頭に入れていただきたいと思います。

会員委員の案として、次の様に考えます。

1. 欠席の場合のみ電話連絡する事にはどうか。
2. 事務局に夜間と休日に留守番電話を設置していただく、と出張先からでも電話連絡



ができる。

最後に当クラブの特徴として、各種イベントには一致団結して出席率も良く（85％）結束が固いと云う、非常に素晴らしい会員の集まりだと云う事です。出席に苦痛を感じる様では駄目で、楽しいライオンズクラブを創る様にして行きたいものです。皆様御協力ありがとうございました。

“返事を出すのもエチケット”どうぞお忘れなく。

*新入会員 6名 *退会者 1名 *クラブ会員数 70名 平成9年6月末

財務・計画委員会

委員長 L 米 永 誠 子



財務計画では、7月になるとすぐに、納涼例会の計画から始まり、事業資金獲得の準備、新竹慈慧ライオンズクラブとの交流、忘年例会、チャーターナイト例会のチャリティオークション、卓話の依頼、3分間スピーチも多くの方にお願ひしたりと盛りだくさんです。そろそろおわりに近づいたと

思っていると、5月の親睦旅行が待っています。最初の納涼例会の計画では、場所選定するのに、委員6名で、暑い中、福岡ガーデンパレス、ハイアットリーゼンシーホテル、花立花……等々走り廻りました。忙しい方ばかりですが、全員協力し、後になれば楽しい思い出となりました。最終的には、花立花に決定し、L古賀の御主人や従業員の方々に、美味しい料理を作ってもらい、元気澁刺オークションにも力が入り、収益金672,000円とすばらしい成績を上げる事が出来ました。卓話もエコノミクス編集長神崎公一郎氏、ペルー1人旅の野口忠行氏、タイ政府観光庁福岡所長ノンナート・ワタナチャット女史と各方面の話を聞くことが出来ました。9月の例会でのペルーの話の時は、三ヶ月後に人質事件が起こるとは、神のみぞ知る……でしたがペルーの子供達の事、アンデスの生活を聞いていたので、この事件が一層身近に感じられ心配でした。資金獲得チャリティディナーショー「民謡でつづる日本の旅藤堂輝明」も日航ホテルで大盛況のうちに終了し、皆で喜び合ったものです。これも全会員にチケットの協力をお願いして、成功出来たと感

謝しています。そして最後の親睦旅行も沖縄337複合地区第43回年次大会に合わせて、石垣島旅行を2泊3日で計画し、参加者も31名になりました。西表島から由布島へと水牛に揺られながら、何か哀愁を帯びた沖縄の歌を唱い海を渡りました。



この様な一年間を振り返り、反省会を開きました。計画・立案の際は、もっともっと委員会で話し合いをし、何事も会員の皆に、早く、わかりやすく、納得がいく様に伝える事が一番大切なことです。良い意見も反省会だけに終らせることなく、それを活かす事が重要です。批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさける事とライオンズ綱領に明記されています。友愛と寛容の精神でやっていけば、楽しい奉仕活動が出来ると確信しています。



公衆安全・社会福祉委員会

委員長 L 三 坂 万 里 子

わいわい座談会の中から

委員会の活動は年間報告にあるので子細は省略します。福祉委員会という直接現場とのかかわりの中でライオンズに在籍している意味が少し理解出来たように思う。

永年続けている博多さくら園老人ホーム、南福岡病院、筑紫少女苑などに関しては、継続していく方が良いが、日の目を見ない小さな施設も育てて行くように出来ればよい。又、物やお金だけでなく、経営者の多いライオンズクラブの方々が、少女苑の子供達や、身障者の方々の自立のために、力を貸して下さるなど望ましく、まだまだしなければならない事は多くあると思う。

桜ライオンズの現状を見ると、その



(ボランディアの花たち)

活動はすばらしく、パワーを感じるがなかなか理解し協力するまでに時間がかかる。理由として自分の多忙という言いわけや、成り行きまかせ、又無責任さから反省もしているのだが、まだ一部の人で動いているという感じで、例会にしても、意見が出ない。お座なりの部分があり魅力に欠ける、理事会の在り方も現状のままで良いのか、例会に決定権があるが、理事会に決定権を持つ方がよいのではないかなどなど意見が出ました。小さな力の協力の必要性を感じます。少人数での委員会座談会はわきあいあいと皆それぞれが思った事をざっくばらんに話し、普段おとなしく黙っていらっしゃる方がこの様な意見をするほどでした。只、その中でボランティアの意味、意義を理解し少しでも協力し喜びを感じる事、それには少しの時間を作って参加し協力する事、そうすればまず自分のクラブの方々を知る。「馬には乗ってみよ、人には添うてみよ」の言葉通りクラブの方々と仲よく出来たらいいなあということです。それでも只、仲良し、こよし、のつき合いだけでなく一つ梓をはずした所での冷静かつ信頼のつき合いをする事で、人を高め、自分をも高められるクラブになる様に、心がける事にしたいと思います。そうすれば又何か新しい発見がある様に思えます。

この一年皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

市民・環境保全・アクティビティ・ 教育・レクリエーション委員会

委員長 L 長 寛 子



5月8日に委員6名集まり反省会を開きました。

◎私達の委員会と公衆安全・社会福祉委員会は、現在、同じ様な活動をしているので、一つのブロックにしたら、委員の数も多くなり、交流も大になり、大きな仕事出来るのではないだろうか。

◎市民・環境保全・教育・レクリエーションは、対市民の仕事なのであま

りに大きすぎて社会福祉委員会、あるいはレオ委員会などと仕事も同じなので、どの様に活動したらよいかわからない。

◎それぞれの委員会の教育を年度初めにしてほしい。

◎各委員会の組織の洗いなおし

◎委員会への配分を本人の希望を少し入れてほしい。どの委員会にはいるかをアンケートをとってみてはいかがでしょうか。

◎桜ライオンズとは……と勉強する事も必要。

◎若い人、子供達に対してのボランティアをしたい。

このような意見が出て参りましたが、この委員会は、大きすぎてどの様にしてよいかわからず、アクティビティを主として行って来ました。

女性だけに出来る仕事で、桜ライオンズクラブの継続アクティビティであります、南福岡病院こばと病棟、松風園、筑紫少女苑等へのプレゼントの製作を毎金曜日、山下作業所にて行って来ました。タオルケット、バスタオル、木綿の布等で布オモチャの製作、介護用品（入浴後の寝かせる敷物、食事の時の長いエプロン、長時間トイレに座る時の腰まき）の製作等です。

筑紫少女苑へは、カラフルなハンカチを作ったりと、女性であっても器用な人、少し不器用な人とありますが、それぞれ自分にあった仕事をしました。

この委員会の人ではない桜の会員も大変忙しい中、時間を作って参加してくださり、山の様に出来た作品を届ける時の感動は忘れられません。

これも沢山の方々のご協力の賜です。感謝申し上げます。



YEプログラム・国際関係プログラム委員会

委員長 L 木 原 園 枝

早いもので一年が過ぎようとしています。YE委員会では、十分な活動が出来ませんでしたが、今期最後の事業として夏期来日生の受け入れがありますので、何卒会員皆様の御協力、御支援をお願い申し上げます。

さて、なかなか集まることの少ない私達の委員会でしたが、先日夕食をとりながら、活発な意見が出されました中からまとめてみました。

まずクラブ運営の方向づけは例会において決まるといわれていますが、いつも例会で行われるのは、理事会で決定されたことの伝達だけの様な気がします。一会員として何か言いたくても発言出来ない、又聞きたくても聞けないような例会である様な気が致します。会員の意見が反映してこそ活力あるクラブが出来るのではないのでしょうか。ひいては例会出席率も上昇し、又退会も少なくなり、楽しくなるように思えます。

やはり会長の方針に会員が共鳴し、委員長への期待に委員が共鳴し協力していく姿勢が大切ではないでしょうか。

最後にライオンズに所属していても、ライオンズについて実際知らないことが多すぎますので御指導をお願い致します。

素晴らしい奉仕に向けて今後も頑張ります。



視力・聴力保護・薬害・保健・糖尿病教育 レオプログラム委員会

委員長 L 高津 英子



平成5年に福岡桜ライオンズに入会させて頂き早いもので四年目を迎える事が出来ました。何もわからないまま、レオ委員長という大役を受け、果して私が皆様のお役に立つ事が出来るかと戸惑いと不安を感じておりましたが無事皆様のご協力を頂き終わろうとしております。この一年振り返っ

てみますと、レオクラブの方針、及び目的は、地域社会の青少年に、指導力、経験及びチャンスを与え、個性豊かな人間に成長させるための奉仕活動を推進するという事で、夏期の研修会が8月に星の村にて、2泊3日のキャンプが行われました。桜ライオンズから11名の方が参加して頂きました。自然の中で子供達が生き生きと友愛を深め楽しん



でいる姿に喜び感動いたしました。

街頭献血は夏期、秋季、合同事業自衛隊献血、冬期と4回、たくさんの会員さんに参加して頂き誠に有りがとうございました。献血は一年をとおして、夏と冬は献血者が少ないのでこの期間にライオンズクラブが協力しますので、日赤のスタッフの方にとっても喜んで頂いております。11月には柳川市民会館にて

福岡県覚せい剤シンナー禍撲滅運動、愛する自分を大切に!!というテーマで開かれ、古賀幹事と参加しました。11月25日には国際ホールにて「もしかしてあなたも糖尿病」というテーマで九州大学の吉成元孝先生の講演を受けました。とてもいい勉強が出来ました。4月に第43回年次大会が盛大に行われ、レオ分科会も無事終わりました。

反省会として、レオ委員会で集まり話し合いをしましたところ、ライオンズの活動はお金がない人は体をつかって、時間がある人は時間を、お金がある人はお金でアクトしようという事で細く長く楽しく継続したいと思っているのですが、ドネーションが少しずつ派手になってきているのではないのでしょうか。ビッグ、ビッグ、と聞くとなんとなく……という意見が出たり、又、L山下の天神の作業場では会話や人間関係、コミュニケーションが出来るしライオンズの内容などもよくわかって楽しい。金曜日時間がある人は参加されるといいですよ、等 etc

楽しい雰囲気の中で終わりました。委員長というお役目をいただいて素晴らしい方々と交流を深めさせて頂き、学び、楽しい生きがいがある一年間でした。残された人生を楽しく奉仕活動が出来る様頑張っていきたいと思ひます。





雑 感

L 二 田 初 子
(銀の会)

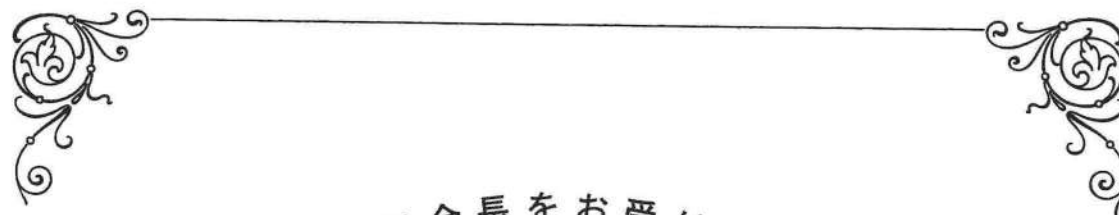


俳
句

初夢やシナリオになき笑顔
 冬うらら庭の埴輪の目が笑ひ
 青き踏むふくらむ土の足の裏
 風光るドームの屋根の片開き
 ゆっくりと喪の服ぬぎて夕ざくら

“濱田会長”お疲れさまでした

前会長 L 山 本 千鶴子



次期会長をお受けして

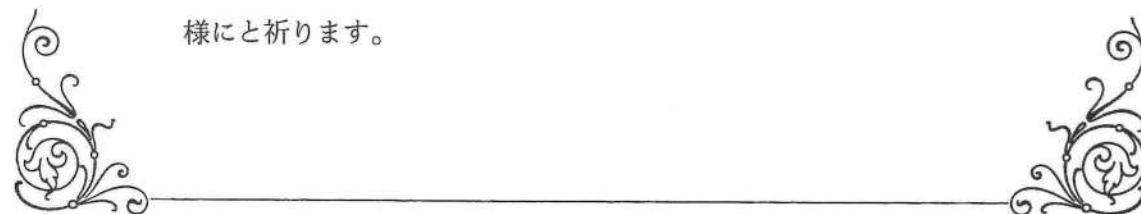


第一副会長 L 山 下 富美子

此の度、桜ライオンズクラブの9代目の会長の大役を拝命する事になりました。唯ひたすら終戦後習い覚えたお針仕事による奉仕活動を生甲斐として、楽しく作業しながら、はや8年すぎました。次期会長と急に決定したときは吃驚、どうしようと思いつつ濱田光江会長の「これから1年間私についていらっしゃい」の言葉に引かれて今日に至りました。会員の方々から、頑張っネ、助けるからネ、とのお励ましの言葉が何より力強く嬉しい事です。

歴代会長の陰になり、日向になってのお力添えを戴きながら、今日迄に築かれた奉仕活動を見習って、一生懸命務めさせて戴きます。

まだまだ元気のつもりですが、物忘れも多くなりつつあります。どうか皆様「寛容の精神」でもって全員でゴングを鳴らし、1本のローソクを明るく輝かせながら、より楽しい桜LCであります様にと祈ります。



アクティビティ

7月 * Y E来日生、トーマス・レスケ君来日

7月15日～8月24日

ホストファミリー L 末松久子

* 労力アクティビティ・博多さくら園おむつたみ

* 天神作業所にて手作り

(看護用品、玩具作製)

毎月以下同じ



〈Y E来日生、トーマス・レスケ君〉

8月 * 博多さくら園夏祭り参加

* レオ夏期研修会参加(星野村池の山キャンプ場)

* 筑紫少女苑盆踊り大会参加

* 納涼例会(新宮町花立花にて)

オークション益金 672,700円

* 夏期街頭献血運動(信金ビル前)



〈筑紫少女苑盆踊り大会〉

9月 * 「博多さくら園」敬老の日式典参加

* 台湾新竹慈慧LC来福 15名

(篠栗南蔵院見学)



〈台湾新築慈慧LC来福〉

10月 * ペルー図書館建設基金 100,000円

* 筑紫少女苑運動会参加

* ライオンズ奉仕デー

福岡南病院こばと病棟昼食の手伝い



〈南福岡病院こばと病棟昼食の手伝い〉

11月 * 資金獲得チャリティ

「民謡でつづる日本の旅」

(藤堂輝明と津軽三味線)

益金 574,967円

* 愛と光の事業団へ支援金 50,000円

* 日本糖尿病協会福岡支部

九大友の会へ 200,000円

* スリランカサルボダヤ運動

メガネ、メガネケース寄贈

* 街頭献血運動(信金ビル前)



〈資金獲得ディナーショー〉

アクティビティ

* 筑紫少女苑さくらの木、つつじ植樹

* 東洋東南アジアフォーラム 16名参加

* 台湾新竹慈慧LC訪問 11/28～12/1



〈東洋東南アジアフォーラム〉



〈中学生作文表彰式〉

12月 * 福岡南病院こばと病棟、松風園、博多さくら園、

早良更生園へクリスマスプレゼント

(五月人形、おひな様セット等)

* 中学生作文表彰式「私の家族」応募数 523編

* 博多さくら園忘年交歓会参加

* LCIF基金 1人当り\$20 計\$1,360献金

1月 * 1月スペシャルオリンピックスへ支援金 200,000円

* LCIF基金 24名(1人1,000ドル) L 二田初子 3,000ドル

* 7R合同事業陸上自衛隊献血運動参加

* 簡易保険還付金 1,000,000円



〈重油流出事故による回収作業用作業服寄贈〉

2月 * 京都府伊根町役場へ

重油流出事故による回収作業用作業服

ゴム手袋、長靴、各100組寄贈(西日本新聞掲載)

* 日本赤十字社福岡県支部へ

血液運搬車寄贈 1,658,300円

* 冬期街頭献血運動(天神イムズ前)

* チャーターナイト記念例会(大阪屋にて)

益金 649,500円



〈血液運搬車寄贈〉

3月 * ペシヤワール会支援ヘドネーションとして180,000円

* レオ年次大会地区会議参加(筑後サザンクスにて)



〈ニコちゃん通信〉

4月 * 337A地区年次大会全員登録で参加

(福岡サンパレスにて)

* 博多さくら園5周年記念式典参加

* 筑紫少女苑観桜会参加

* 重度心身障害児「ニコちゃん通信」の会

どんたく隊パレード参加用揃いのハッピー製作

5月 * 複合地区年次大会参加(沖縄)

* 3日「ニコちゃん通信」の会

車椅子でのどんたく隊パレードに参加

6月 * 簡易保険還付金 800,000円

♪ LOVE CAN BUILD A BRIDGE
(愛の架け橋)

I'd gladly walk across the desert with no shoes upon my feet to share with you the last bite of bread I had to eat. I would swim out to save you in your sea of broken dreams. When all your hopes are sinking, let me show you what love means.

Chorus Love can build a bridge between your heart and mine. Love can build a bridge, don't you think it's time? Don't you think it's time?

I'd whisper Love so loudly, every heart would understand that love and only love can join the tribes of man. I would give my heart's desires so that you might see the first step is to realize that it all begins with you and me.

Chorus Love can build a bridge between your heart and mine. Love can build a bridge, don't you think it's time? Don't you think it's time?

When we stand together in our finest hour, we can do anything, anything, keep believing in the power.

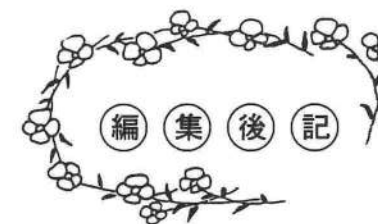
Chorus Love can build a bridge between your heart and mine. Love can build a bridge, don't you think it's time? Don't you think it's time?

Chorus Love can build a bridge between your heart and mine. Love can build a bridge, don't you think it's time? Don't you think it's time?



▲ 福岡舞鶴ライオンズクラブ 創立25周年記念の祝宴にて
国際会長 L アウグスティン・ソリバのテーマソング "LOVE CAN BUILD A BRIDGE"
(愛の架け橋) を28名にて歌い好評を得る。

1997年2月27日 ● 於シーホーク・リゾートホテル



祇園山笠一色の博多の街の喧騒もすっかり静まりうだるような暑さの夏本番となりました。

今年は「花の語らい」が遅くなりましたことを、まずお詫び申し上げます。難産の末生まれたものは、ひとしお愛しいものです。

今回は、ライオンズ必携にもありますように「一人の英雄もなく、一人の非協力者もない」というライオンスピリットに基づき、できるだけメンバー全員が参加できるようにと委員会を開いて頂き、話し合ってもらい必ず何らかの形で載ることに努めました。

仕上げの段階で色々な問題が出てきましたが、PR委員会として今しなければならぬと思ひ提案させて頂きました。これもこの一年間この委員会がよく集まり意見を出し合い、コミュニケーションを深めながら一人一人がライオンズを自覚し理解して出てきた結果だと思います。わだかまりなく自分の意見を堂々と主張してお互いに理解し合い、いたわり合い、尊重し合って、和気あいあいと奉仕活動ができ、本当によかったと思います。

最後にあたり、本当にライオンズとは奉仕とは、何なのだろうかと考えさせられました。

皆様のご協力ありがとうございました。

雨降って地固まる 次に向って ウィサーブ!!

感謝!!



「花の語らい」

発行 福岡桜ライオンズクラブ
編集 PR会報編集委員会
発行日 平成 9年6月30日
印刷 末松印刷株式会社
福岡市博多区東那珂2-4-36
TEL (092) 411-6131



FUKUOKA SAKURA
LIONS CLUB

